



## 概要

---

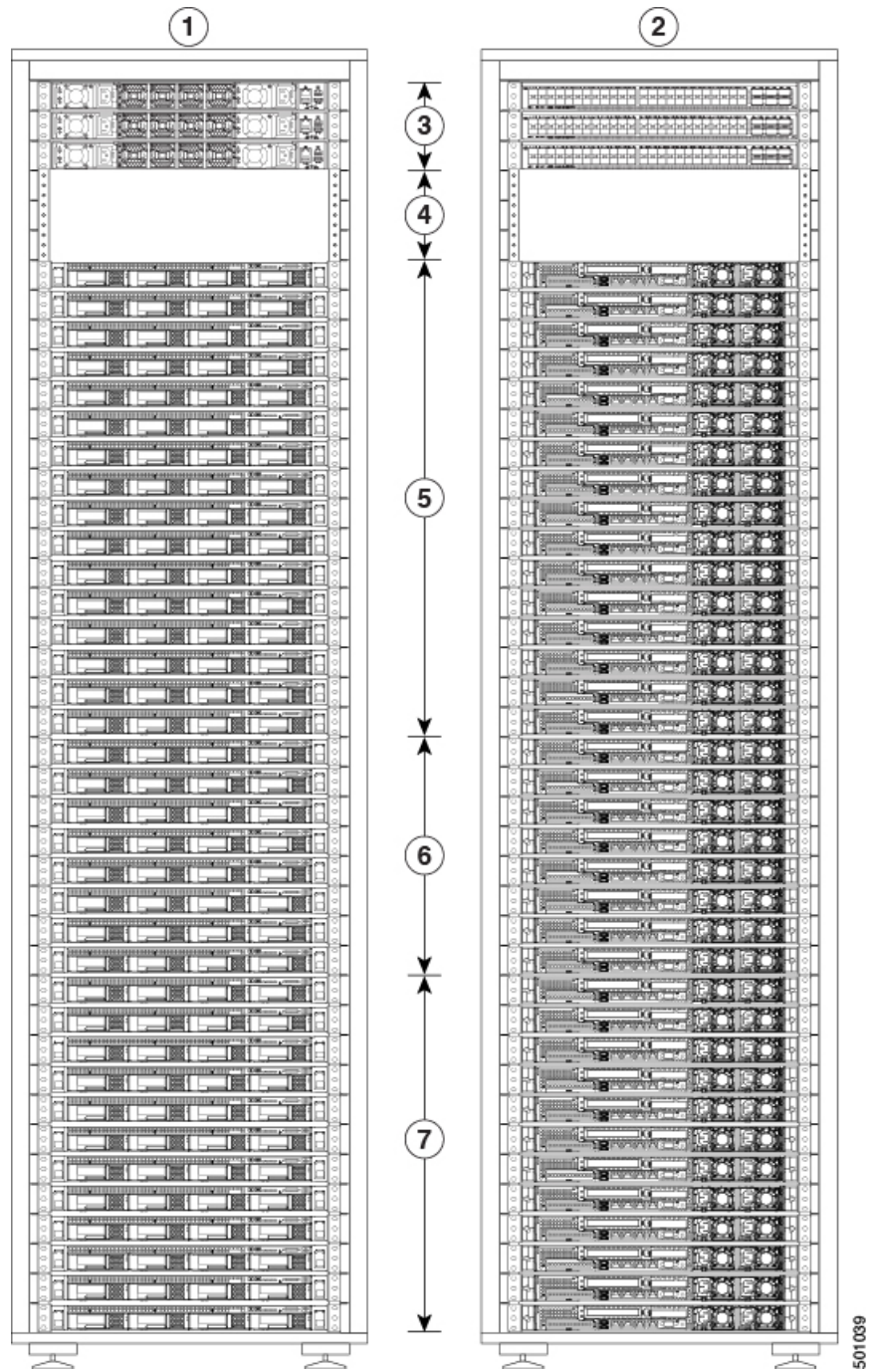
- [インストールの概要 \(1 ページ\)](#)

## インストールの概要

Cisco Tetration (Cisco Secure Workload) クラスタは、サーバーが 5000 台を超えるデータセンターには 39 ラックユニット (RU) の大型フォームファクタプラットフォーム (C1-Tetration)、サーバーが 5000 台よりも少ないデータセンターには 8 RU の小型フォームファクタプラットフォーム (C1-Tetration-M) として展開できます。さらに、大型フォームファクタプラットフォームは、要件に応じて 1 ラックまたは 2 ラックのいずれかで展開できます。

Cisco Tetration (Cisco Secure Workload) M4 クラスタ展開の構成は次のとおりです。

- 1 ラックの大型フォームファクタ 39 RU Cisco Tetration (Cisco Secure Workload) プラットフォーム (C1-Tetration シングルラック)

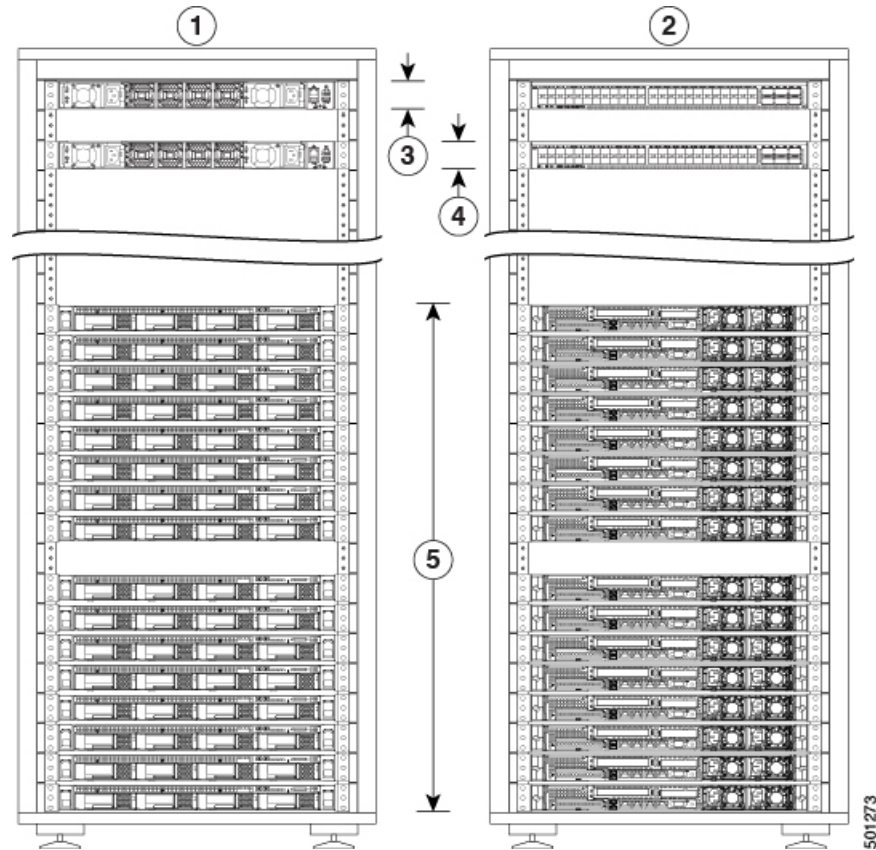


1	コールドアイルのビュー	5	16 台のコンピューティングサーバ (RU 21 ~ 36)
2	ホットアイルのビュー	6	8 台のキャッシュサーバ (RU 13 ~ 20)

3	1 個のスパイン (RU 42) と 2 個のリーフスイッチ (RU 40 および 41)	7	12 個のベースサーバ (RU 1 ~ 12)
4	ラック単位 (Ru 37 に 39) を開く		

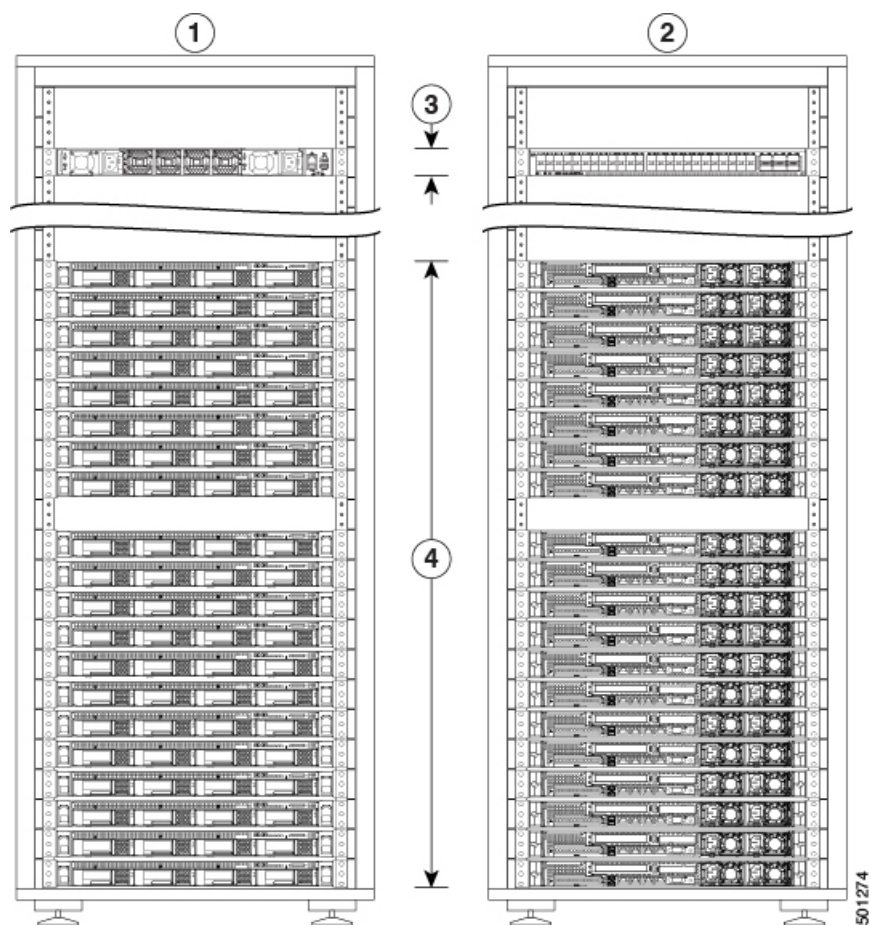
• 2 ラックの大型フォームファクタ Cisco Tetration (Cisco Secure Workload) プラットフォーム (C1-Tetration デュアルラック)

• ラック 1



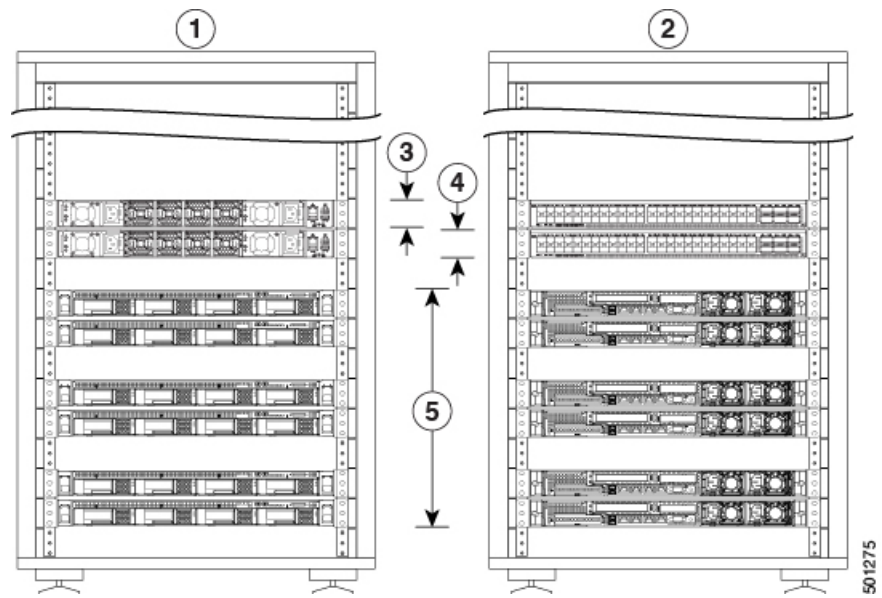
1	コールドアイルのビュー	4	1 個のリーフ スイッチ (RU 40)
2	ホットアイルのビュー	5	16 台のコンピューティングサーバ (RU 1 ~ 4、6 ~ 9)
3	1 個のスパイン スイッチ (RU 42)		

• ラック 2



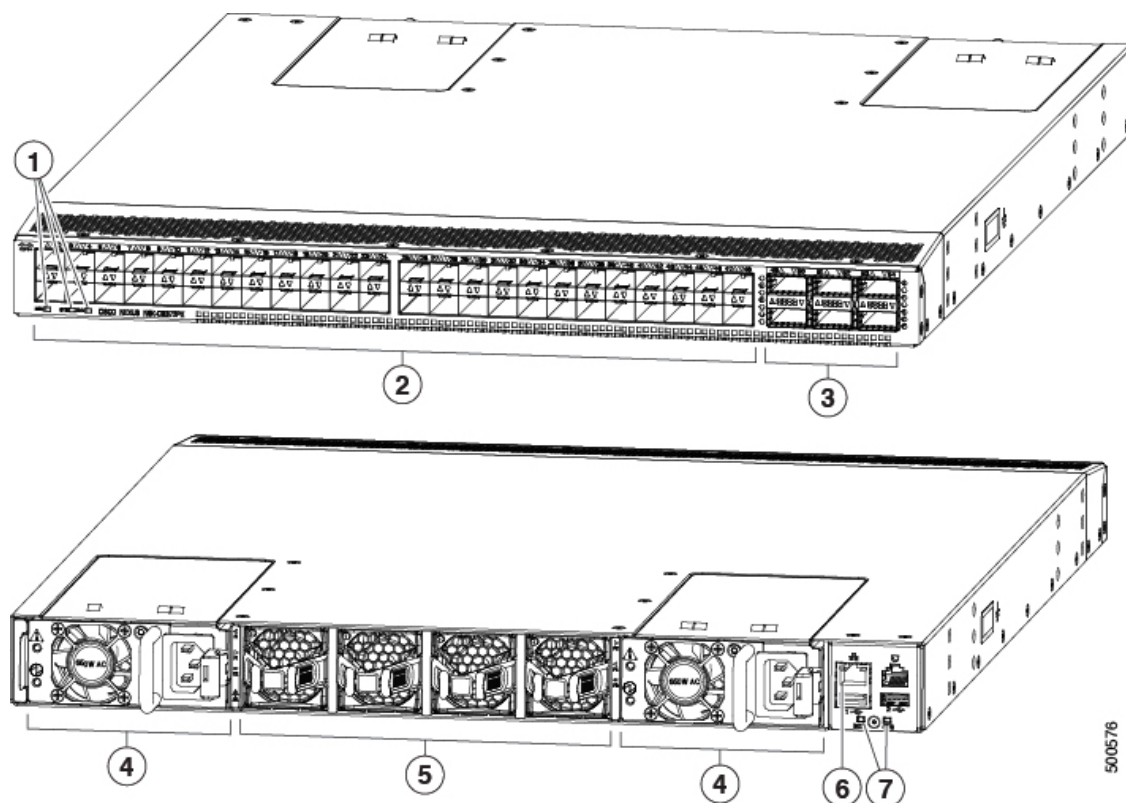
1	コールドアイルのビュー	3	2 個のリーフ スイッチ (RU 40)
2	ホットアイルのビュー	4	8 個のキャッシュ サーバ (RU 14 ~ 21) と 12 個のベース サーバ (RU 1 ~ 12)

- 1 ラックの小型フォームファクタ 8 RU Cisco Tetration (Cisco Secure Workload) プラットフォーム (C1-Tetration-M)



1	コールドアイルのビュー	4	リーフスイッチ (RU 11)
2	ホットアイルのビュー	5	6個のユニバーサルサーバ (RU 2、3、5、6、8、および9)
3	リーフスイッチ (RU 12)		

このスイッチには1から48番の48個の10ギガビットのイーサネットポートと49から54番の40ギガビットイーサネットポートがあります。次の図は、スイッチの両端を表示し、これらの機能を識別します。



1	ビーコン (BCN) 、ステータス (STS) および環境 (ENV) LED	5	ファンのモジュール(青色ハンドルは、ポート側排気口へのエアフローを示す)
2	1 から 48 番の 10 ギガビット ポート (48)	6	管理ポート
3	49 から 54 番の 40 ギガビット ポート (6)	7	ビーコン (BCN) およびステータス (STS) LED
4	AC 電源 (青色はポート側排気口のエアフローを示す)	—	—

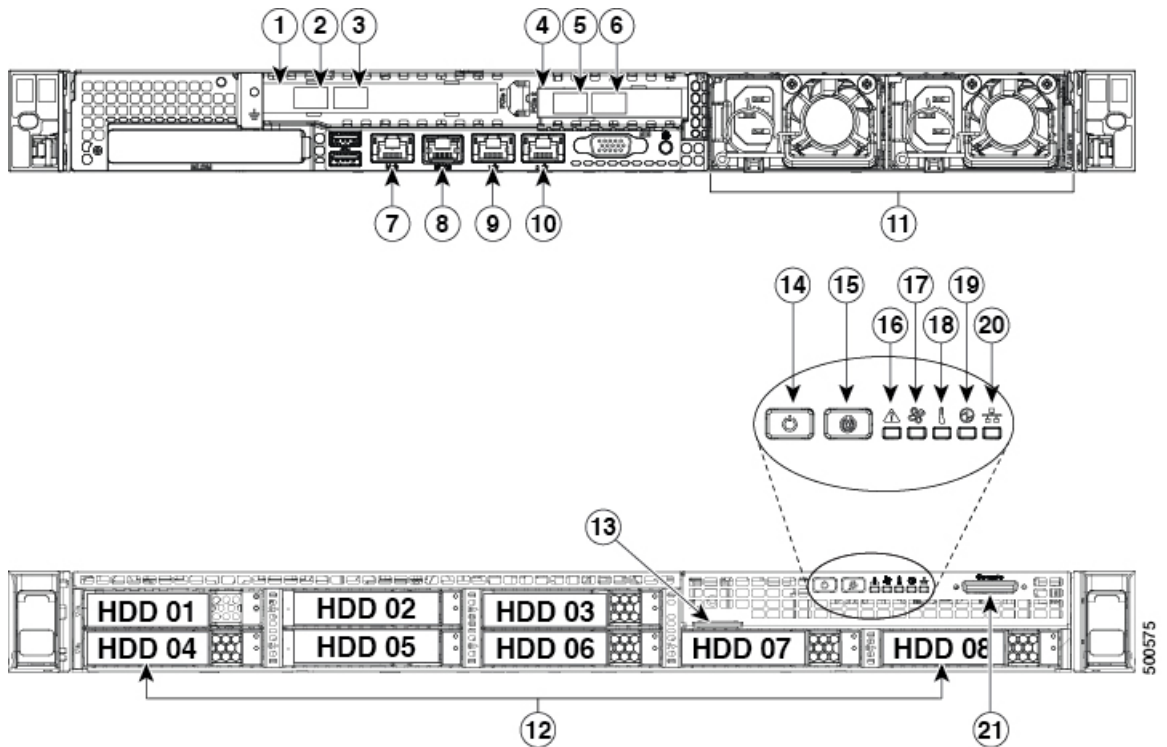
大規模フォームファクタスイッチでは、コンピューティング、キャッシュ、および基本ノードとして実行するサーバがあります。小規模フォームファクタスイッチでは、ユニバーサルノードとして実行するサーバがあります。次の表は、これらのサーバの特性を指定します。

サーバタイプ	各サーバのストレージドライブ	RAM	RAID キャッシュ
コンピューティングノード(大規模なフォームファクタプラットフォームの16個のサーバ)	1.2TB ドライブ(スロット 1 の 1 個) 1.8TB ドライブ(スロット 2~8 の 7 個)	512 GB	4 GB



サーバタイプ	各サーバのストレージドライブ	RAM	RAID キャッシュ
キャッシュ ノード (大規模フォームファクタの 8 個のサーバ)	400 GB ドライブ (8)	512 GB	2 GB
基本ノード (フォームファクタ大規模なプラットフォームでは 12 サーバ)	1.2 TB ドライブ (8)	256 GB	2 GB
ユニバーサル ノード (小規模のフォームファクタプラットフォームの 6 個のサーバ)	1.6 TB SSD ドライブ (5) 3.6 TB SSD ドライブ (3)	1024 GB	2 GB

サーバに、10 ギガビット インターフェイス ポート (eth2、eth3、eth5、および eth4) は、2 つの PCIe ライザーに配置され、次の図に示すように、管理ポートが PCIe ライザーの下にあります。



1	PCIe ライザー 1	12	ドライブ ベイ
2	eth2 ポート (最初のインターフェイスポート)	13	引き抜きアセット タグ

3	eth3 スイッチポート (2番目のインターフェイスポート)	14	電源ボタン/電源ステータス LED
4	PCIe ライザー 2	15	ビーコン LED
5	eth5 ポート (4番目のインターフェイスポート)	16	システム ステータス LED
6	eth4 ポート (3番目のインターフェイスポート)	17	ファンステータス LED
7	管理インターフェイス	18	温度ステータス LED
8	シリアルポート	19	電源ステータス LED
9	eth0 ポート (CIMC ポート)	20	ネットワーク アクティビティ LED
10	eth1 ポート	21	コンソール ポート
11	AC 電源装置		—



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。